



北海道大学

HALCC観光班 津別町視察結果

—観光拠点整備と滞在時間延長に向けて—

2016年11月13日

HALCC観光班：井上雅登、杉浦瑛美、服部立夏、福田千鶴、菩提寺凌、米田勇輝

はじめに



井上雅登・杉浦瑛美・菩提寺凌・福田千鶴・服部立夏・米田勇輝



アジェンダ

- (Ⅰ) 観光振興の必要性
- (Ⅱ) 現状分析
- (Ⅲ) 課題
- (Ⅳ) 政策提言
- (Ⅴ) 総括・次年度へ向けての問題意識



(I) 観光振興の必要性

なぜ観光振興をするべきなのか？

- ①町の魅力の再発見と町民の津別プライドの養成
- ②観光を通じた地域づくり
- ③経済効果



(Ⅱ) 現状分析

津別町の観光資源

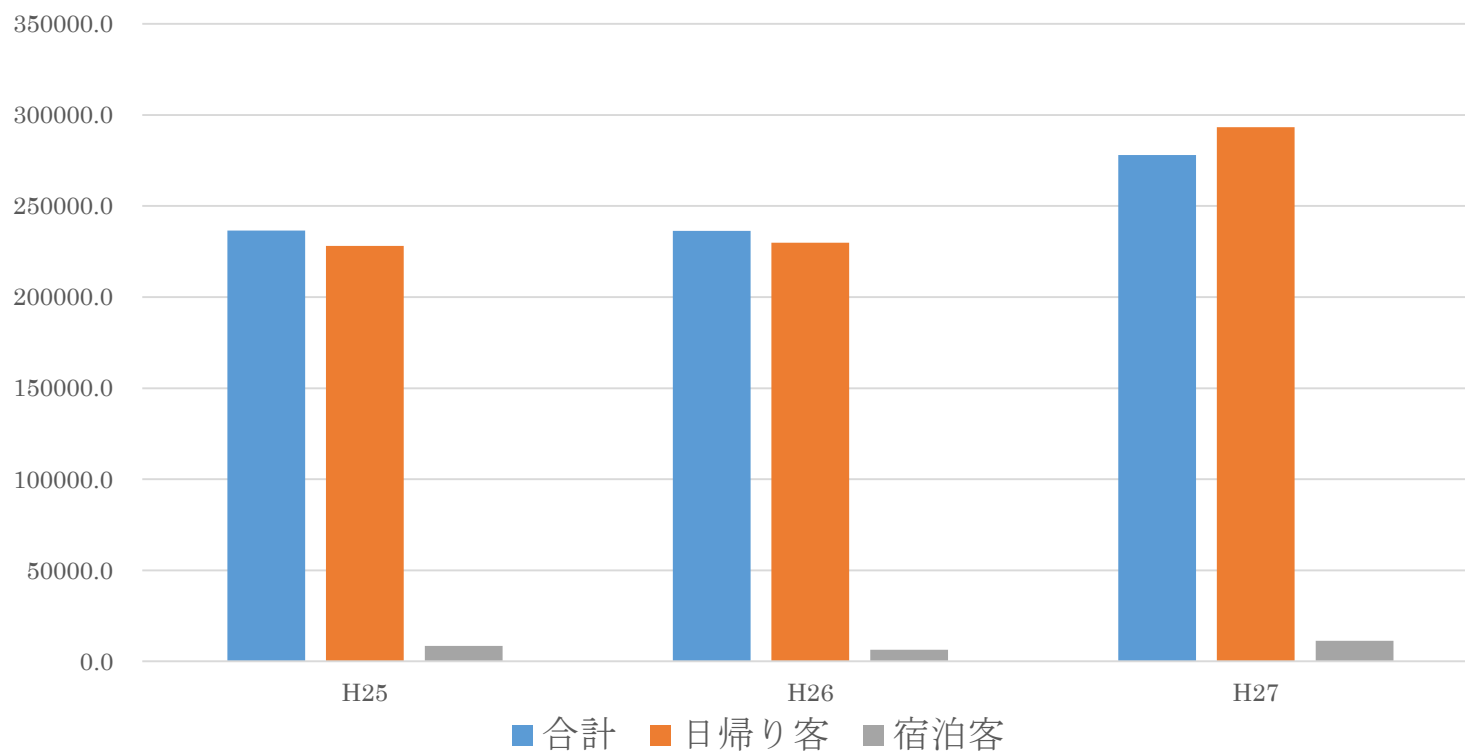
- ・クマヤキ
- ・津別峠からの雲海
- ・チミケツプ湖
- ・鹿鳴の滝
- ・シゲチャンランド
- ・木材工芸館 etc...



(Ⅱ) 現状分析

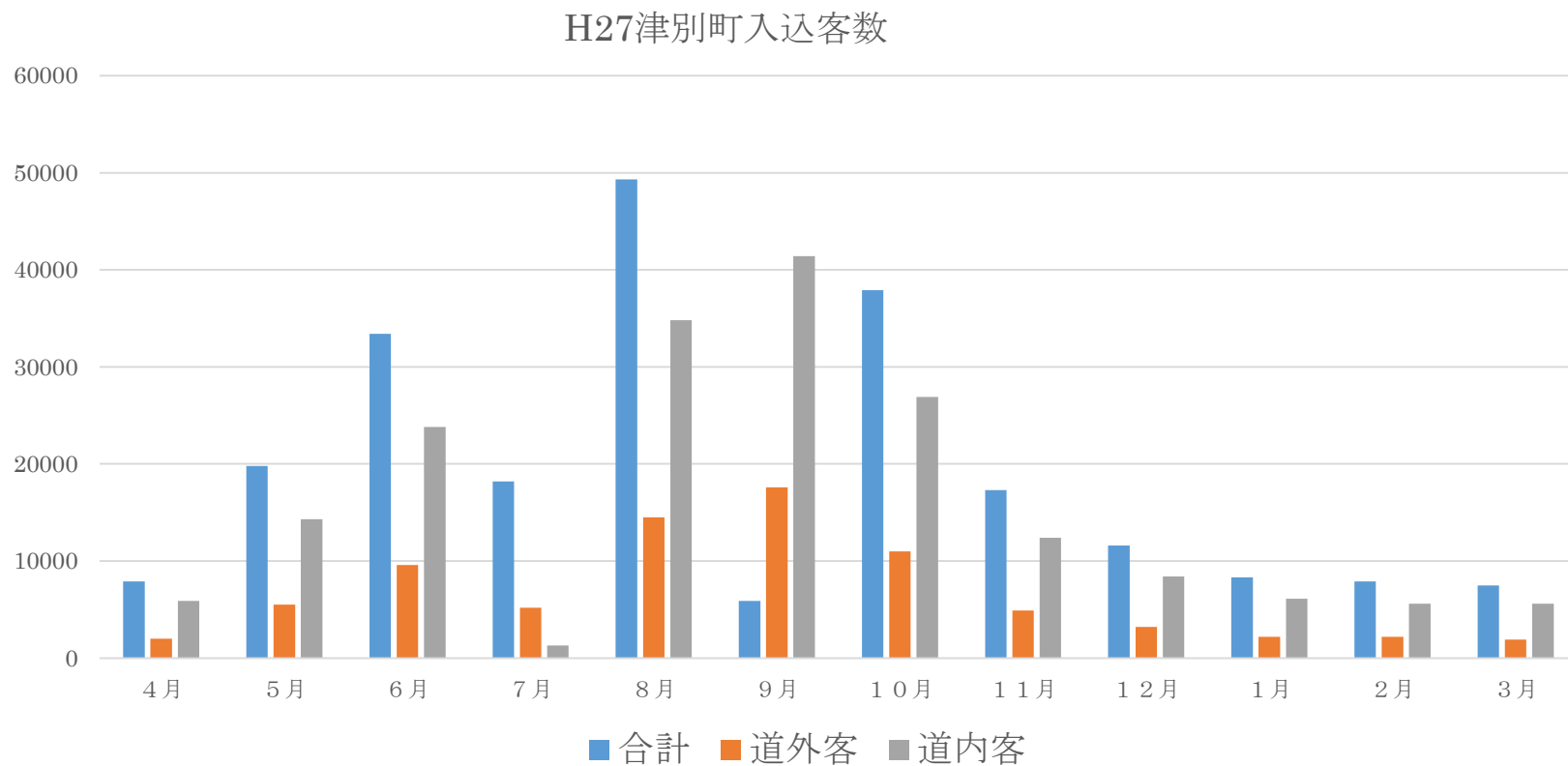
津別町の年間入込客数

H25~27年度津別町入込客数



(Ⅱ) 現状分析

津別町 H27年度 入込客数



(Ⅱ) 現状分析

視察先

- ・道の駅 あいおい
- ・くるみの森
- ・ランプの宿 森つべつ
- ・津別観光協会
- ・みいとイン つべつ
- ・チミケツプホテル
- ・GYUGYU-TTO TERRACE



(Ⅱ)現状分析

ヒアリングを通じた課題認識

- ・津別のPR不足
- ・観光資源の地理的孤立
- ・活動している人との間の繋がりが希薄
- ・冬期期間の客足の遠のき
- ・リピーターをいかに増やすか
- ・二次交通の未発達



(Ⅲ) 課題

本日取り上げる問題

- (1) 津別のPR不足
- (2) 観光資源の孤立化
- (3) 冬場の観光資源不足



(IV) 政策提言

課題

(1) 津別のPR不足

⇒「道の駅 あいおい」の観光拠点化

理由①クマヤキによる集客効果

②阿寒湖から北見に移動する際の中継点



(IV) 政策提言

方策

- ① モニターの設置（津別町PR動画の放映）
- ② 木製装飾の導入
- ③ 照明の明度を高める
- ④ クマヤキ販売所を館内に限定
- ⑤ 棚や椅子を津別産に
- ⑥ パンフレットの配置を変え、
展示を見やすく



(IV) 政策提言

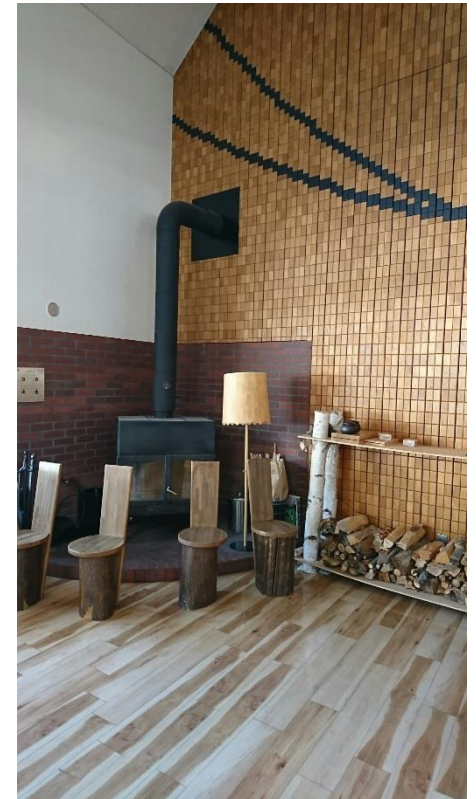
課題

(2) 観光資源の孤立化

⇒ 各観光資源を巡る仕掛けを作る

理由①個別にPRを行うよりも効果が高い

②リピーターが増える可能性



(IV) 政策提言

方策

① 津別周遊スタンプラリー

⇒ 津別市街地から離れた3地区を巡るスタンプラリー

② 日刊つべつ ぶらり新聞

⇒ 津別町内で営業している店を曜日ごとに紹介



(IV) 政策提言

課題

(3) 冬場の観光資源不足

⇒ イベント・見どころの創出

理由① 周辺自治体との差別化

② PR動画の存在



(IV) 政策提言

方策

①アイスクャンドル点灯まつりの拡大

⇒さんさん館がメイン会場になっている祭りを町内各地に拡大する。

②写真スポットの設置

⇒PR動画に出ていた風景の写真スポットを紹介



(V) 総括・次年度へ向けての問題意識

総括

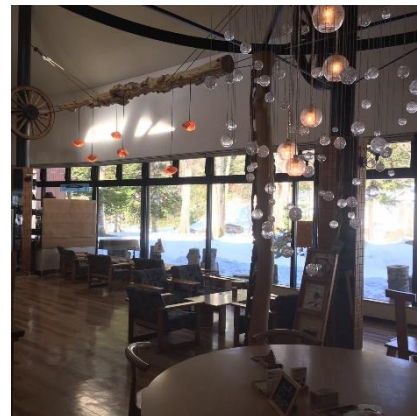
- (1) 「道の駅 あいおい」の観光拠点化
- (2) 周遊スタンプラリー・曜日別観光マップの作成
- (3) アイスキャンドルまつりの拡大・写真スポットの設置

次年度へ向けての問題意識

- ・津別町のグリーンツーリズムを盛り上げるには？
- ・“愛林のまち”を売り出していくには？
- ・津別町内の人的資源のつながりをつくるには？



ご清聴ありがとうございました！



まる太くんのラインスタンプ欲しいです・・・。